

CASBEE 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都市下京区梅小路高畑町計画 新築工事	階数	地上7F
建設地	京都市下京区梅小路高畑町8番1	構造	RC造
用途地域	準工業、準防火、20mm3階高度、市街地型高層形成地区、通風70%保全区域	平均居住人員	79 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年12月 0.0	評価の実施日	2019年11月20日
敷地面積	1,212.79 m ²	作成者	増倉裕明
建築面積	486.00 m ²	確認日	2019年11月21日
延床面積	2,718.27 m ²	確認者	藤原武士



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	79%
③上記+②以外の	76%
④上記+	76%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

音環境	3.0
温熱環境	2.2
光・視環境	3.1
空気質環境	3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

機能性	3.0
耐用性	3.0
対応性	2.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.0

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.9
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

水資源	2.2
非再生材料の	3.5
汚染物質	4.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

地球温暖化	3.9
地域環境	2.3
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー性に優れた住環境。 	<ul style="list-style-type: none"> 特に無し。
<h4>Q1 室内環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> 内装材には全てF☆☆☆☆製品の使用。 	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <ul style="list-style-type: none"> 特に無し。
<h4>LR1 エネルギー</h4> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電設備を設置。 LED照明使用。 	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> 光害の抑制に配慮。
<h4>Q2 サービス性能</h4> <ul style="list-style-type: none"> インターネット100mbiti以上環境有り。 	
<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <ul style="list-style-type: none"> 地域産木材使用。 	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される